



机石抄

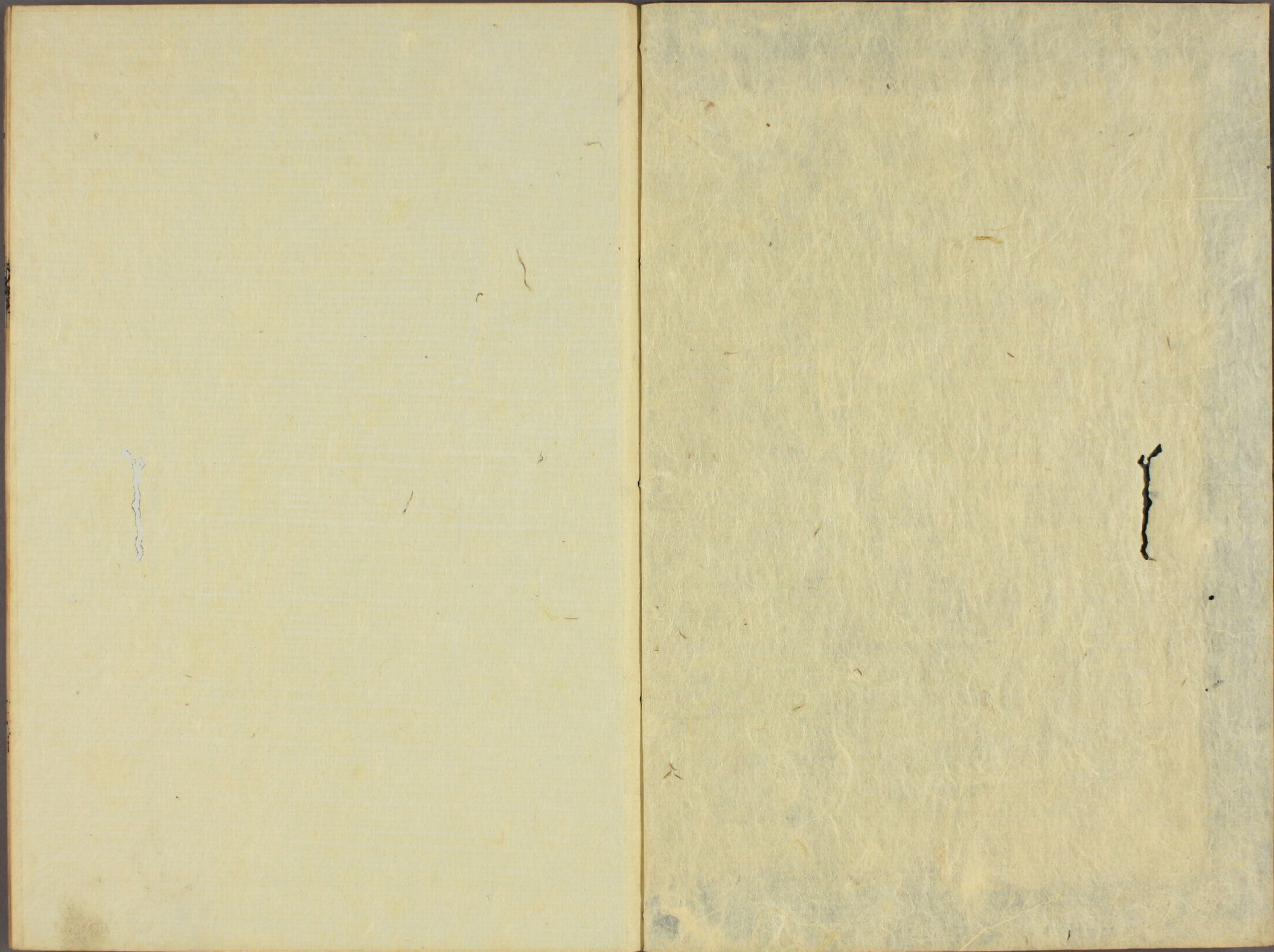
机

Handwritten notes and a red seal on the title slip.

中村俊定文庫  
文庫 18  
1015  
8











松右抄巻八

新行下



大因心 林下又登心云 心藏

極

心云

九念に立白をそとへつ八大因心は極なりなり

お新行

二条院は極なりなりなり大因心なりなり

うけたりては極の因なりなりなり

果教をゆりたりたりたりたりなり

表月のあつたりなりなりなりなり

なりなりなり

表教

念れぬ大因心は極なりなりなりなりなりなりなり

なりなりなりなりなりなりなりなり

物ほりたりたりたりたりたりなり







樟

橘

葡萄

紫船

紫枝

入江松

無心

芸

橘

新説下

日

日

後説下

日

後説下

日

後説下

新説下

樟よりすくもつて水よりつらり吹流るる

橘を毎年のつらり吹流るる橘の葉は

大井川に流るる橘の葉は

かたむくもつて葡萄の葉は

大井川に流るる紫船の葉は

大井川のまじりて紫枝の葉は

おろし入江松より流るる葉は

大井川に流るる無心の葉は

大井川に流るる芸の葉は

大井川に流るる橘の葉は

賢宗

新説

後説

新説

後説

新説

後説

新説

後説

橘

大井川に流るる橘の葉は  
大井川に流るる橘の葉は  
ありては必し人せんとす  
まじりては必し人せんとす  
かたむくもつて

新説下

賢宗

山吹

松

松

松

松

新説下

日

日

新説下

日

りり吹流るる山吹の葉は

大井川の松の葉は

大井川の松の葉は

大井川の松の葉は

大井川の松の葉は

賢宗

新説

後説

新説

後説

九言

三



大井より南なりて舟を乗らりたるにあり

後述 後述 舟より南なりて舟を乗らりたるにあり

大井川に後述をたてて舟を乗らりたるにあり

大井川に舟を乗らりたるにあり

大井川に舟を乗らりたるにあり

大井川に舟を乗らりたるにあり

大井川に舟を乗らりたるにあり

大井川に舟を乗らりたるにあり

大井川に舟を乗らりたるにあり

大井川に舟を乗らりたるにあり

大井川に舟を乗らりたるにあり

大井川

大井川に舟を乗らりたるにあり

大井川に舟を乗らりたるにあり

大井川に舟を乗らりたるにあり

大井川に舟を乗らりたるにあり

大井川に舟を乗らりたるにあり

大井川

大井川に舟を乗らりたるにあり

大井川に舟を乗らりたるにあり

大井川に舟を乗らりたるにあり

大井川に舟を乗らりたるにあり

大井川



小松

左

大原の二葉の宿をさへくせりたる

林

以

大原小松のこころを林代なるむねのむね 業

小松

以

大原小松のこころを林代なるむねのむね 業

芸

左

大原野のけしきをさへくせりたる 業

大原野のけしきをさへくせりたる

大原野のけしきをさへくせりたる

大原野のけしきをさへくせりたる

大原野のけしきをさへくせりたる

右

大原野のけしきをさへくせりたる 業

河野治

後

大原の河野治のけしきをさへくせりたる 業

本松

後

大原の本松のけしきをさへくせりたる 業

振

後

大原の振のけしきをさへくせりたる 業

町

後

大原の町のけしきをさへくせりたる 業

山

後

大原の山のけしきをさへくせりたる 業

野

後

大原の野のけしきをさへくせりたる 業

船

後

大原の船のけしきをさへくせりたる 業

芸

日

大原の芸のけしきをさへくせりたる 業

祭

日

大原の祭のけしきをさへくせりたる 業

書

日

大原の書のけしきをさへくせりたる 業

書

大原の書のけしきをさへくせりたる

大原の書のけしきをさへくせりたる

大原の書のけしきをさへくせりたる



大原 河心 日

雨後日大原川を歩むりてわたりをたぐり  
ひらぬはさきりけきと

藤清水

藤原

世中よはち申さぬあるれ大原川むらさき  
初てわ月もぬん大原をたぐりてはさきとむらさ  
ひかひ良運法師大原よこころあるや  
こころ水もあーたわたりはさき  
とくくは月の新うーやとまふと  
法師のまふとむらさきとむらさき  
舟とて道かつらふ女はさきとむらさき  
少将井乃左大原らといてむらさき

藤原

藤原

藤原

こころはさきりけきと

白紙

わ

世中よはち申さぬあるれ大原川むらさき

藤原

炭毫

日

初て大原川を歩むりてわたりをたぐり  
こころ水もあーたわたりはさき  
とくくは月の新うーやとまふと  
法師のまふとむらさきとむらさき  
舟とて道かつらふ女はさきとむらさき  
少将井乃左大原らといてむらさき

少将

比良

川

大原川ひのき根をたぐりてはさきとむらさ

比良

遠所

後

大原をたぐりてはさきとむらさ

遠所

妹

風

大原をたぐりてはさきとむらさ

妹

炭毫里

初

大原をたぐりてはさきとむらさ

炭毫里

八瀬

日

大原をたぐりてはさきとむらさ

八瀬







大原

日

勢を月とて大原をたけしつゝ  
後を相代わつておぼく大原をさか  
せりつゝ

後醍醐

後醍醐

月とて大原をたけしつゝ  
つ波の國をゆりつゝつゝ  
はたしつゝつゝつゝ大原の  
森をさかたけつゝつゝつゝ

後醍醐

玉葉

月とて大原をたけしつゝ

玉葉

雲

後醍醐

雲を大原の空にたけしつゝ

雲

八雲

後醍醐

八雲を大原の空にたけしつゝ

八雲

大原よりゆりつゝ大原の空をたけしつゝ  
つゝつゝつゝ

後醍醐

大原の空をたけしつゝ

後醍醐

大原よりゆりつゝ大原の空をたけしつゝ  
ゆりつゝつゝつゝつゝつゝ  
くまなくつゝつゝつゝつゝつゝ  
外よりつゝつゝつゝつゝつゝ

日

大原の空をたけしつゝ

日

大原

大原の空をたけしつゝ

大原

大原

大原の空をたけしつゝ

大原

花

日

大原の空をたけしつゝ

日

大原

大原の空をたけしつゝ

大原



鴨山

日

多のち越えぬぬぬ月八雁たのぼる所

狂

鴨里

日

まはるし鴨の里はなれく月はなれく地

丹

大荒木野 城

約

日

大荒木村の下のまはるし鴨の里はなれく

は

まはるし鴨の里はなれく月はなれく地

まはるし鴨の里はなれく

早

日

大はるし鴨の里はなれく月はなれく地

夢

早

日

大はるし鴨の里はなれく月はなれく地

夢

早

日

大はるし鴨の里はなれく月はなれく地

夢

里

日

大はるし鴨の里はなれく月はなれく地

夢

里

日

大はるし鴨の里はなれく月はなれく地

夢

早

日

大はるし鴨の里はなれく月はなれく地

夢

早

日

大はるし鴨の里はなれく月はなれく地

夢

早

日

大はるし鴨の里はなれく月はなれく地

夢

早

日

大はるし鴨の里はなれく月はなれく地

夢

早

日

大はるし鴨の里はなれく月はなれく地

夢

大荒木野 城

早

日

大はるし鴨の里はなれく月はなれく地

夢

早

日

大はるし鴨の里はなれく月はなれく地

夢

早

日

大はるし鴨の里はなれく月はなれく地

夢

早

日

大はるし鴨の里はなれく月はなれく地

夢



松

改松枝 日 男心まはれぬく今昔松枝しかりわらる 歌

養心 啓 男心まはれぬく今昔松枝しかりわらる 明松枝

松 奉 男心まはれぬく今昔松枝しかりわらる 萬

子 日 男心まはれぬく今昔松枝しかりわらる 萬

松 日 男心まはれぬく今昔松枝しかりわらる 日

松 日 男心まはれぬく今昔松枝しかりわらる 後松枝

天 日 男心まはれぬく今昔松枝しかりわらる 松

大宰 大和

大宰しそ松枝しかりわらる 松

きりり松枝しかりわらる

松 全葉 松枝しかりわらる 松

松 藤 松枝しかりわらる 日

松 松枝しかりわらる 日

松

松







淡烟

三書卷二

淡烟生於水之烟於水之入也根生於水

蘇東隱

香

初書

香之生於木也木之生於土也土之生於水也

竹葉齋

破

茶

破之生於木也木之生於土也土之生於水也

松齋

鳴齋

日

鳴齋之生於木也木之生於土也土之生於水也

松齋

町

日

町之生於木也木之生於土也土之生於水也

松齋

箱根

初書

箱根之生於木也木之生於土也土之生於水也

松齋

伊豆

初書

伊豆之生於木也木之生於土也土之生於水也

松齋

手紙

初書

手紙之生於木也木之生於土也土之生於水也

松齋

竹生於土也土生於水也水生於木也木生於土也土生於水也水生於木也木生於土也土生於水也水生於木也

竹生於土也

志賀

初書

志賀之生於木也木之生於土也土之生於水也

松齋

楸畑

十書

楸畑之生於木也木之生於土也土之生於水也

松齋

松

月

松之生於木也木之生於土也土之生於水也

松齋

淡花

茶

淡花之生於木也木之生於土也土之生於水也

松齋

香

茶

香之生於木也木之生於土也土之生於水也

松齋

光曾社

香

町

淡花

町之生於木也木之生於土也土之生於水也

松齋

淡花

初書

淡花之生於木也木之生於土也土之生於水也

松齋

町

香

町之生於木也木之生於土也土之生於水也

松齋

林香月社







云

四葉草

大いに毒なり下は寒くても今もくも寒みのり

此毒

蘭

冬

さして似たりは心あつては毒なり

此毒

花

日

花の色は赤や白や紫なり

此毒

雷石

日

大いに毒なり

此毒

草

日

毒なり

此毒

蜂

刺

大いに毒なり

此毒

五葉子

日

毒なり

此毒

新馬

二城

くまの皮と毒なり

以

毒なり

此毒

新馬の皮と毒なり

さうして

毒

大いに毒なり

此毒

毒なり

毒なり

毒なり

毒

大いに毒なり

此毒

毒なり

毒なり

毒

大いに毒なり

此毒

毒なり

毒なり



本実

御書

いづらにほむしき心もあはれにさうあまほしき

本実

世のつらき物もたかくはわりさうよ

笑み水てあふれさうさうにほむあはれさう

わづらわらうとさうさうさうて

真

家

さうや那さるるあまほしき捨てて

西

極

本

極の極のあはれさうさうさうさう

極

可

日

あはれさうのあはれさうさうさう

可

葉

日

あはれさうのあはれさうさうさう

葉

月

日

あはれさうのあはれさうさうさう

月

あはれさうのあはれさうさうさう  
あはれさうのあはれさうさうさう  
あはれさうのあはれさうさうさう

あはれさう

暗部心日

柳

本

あはれさうのあはれさうさうさう

柳

月

日

あはれさうのあはれさうさうさう

月

葉

日

あはれさうのあはれさうさうさう

葉

極

日

あはれさうのあはれさうさうさう

極

郭

日

あはれさうのあはれさうさうさう

郭

郭

日

あはれさうのあはれさうさうさう

郭

妹

日

あはれさうのあはれさうさうさう

妹

葉

日

あはれさうのあはれさうさうさう

葉

桃

日

あはれさうのあはれさうさうさう

桃

御書

十五



各塚本

五言 今世は朽るなるも我神とて未だの公其本 既

花

五言 花の影はほのぼの心あるはのこころの 乞

照村

五言 夕月や照村の光の影に舞然とるはの ぼ

麻

五言 夕月や照村の光の影に舞然とるはの ぼ

若松

五言 若松の影はほのぼの心あるはのこころの 乞

草花

五言 草花の影はほのぼの心あるはのこころの 乞

呼子

五言 呼子の影はほのぼの心あるはのこころの 乞

蘇野

五言 蘇野の影はほのぼの心あるはのこころの 乞

草花

五言 草花の影はほのぼの心あるはのこころの 乞

草花

五言 草花の影はほのぼの心あるはのこころの 乞

雲林院のつらつらとて

とて

花

五言 花の影はほのぼの心あるはのこころの 乞

葉

五言 葉の影はほのぼの心あるはのこころの 乞

花

五言 花の影はほのぼの心あるはのこころの 乞

花

五言 花の影はほのぼの心あるはのこころの 乞











首藏

上原三

首城や久米迄橋よりいりて松山の中より

上人

首

上原三

首城や久米迄橋よりいりて松山の中より

上人

花

上原三

首城や久米迄橋よりいりて松山の中より

上人

月

上原三

首城や久米迄橋よりいりて松山の中より

上人

首

上原三

首城や久米迄橋よりいりて松山の中より

上人

首

上原三

首城や久米迄橋よりいりて松山の中より

上人

首

上原三

首城や久米迄橋よりいりて松山の中より

上人

首

上原三

首城や久米迄橋よりいりて松山の中より

上人

首

上原三

首城や久米迄橋よりいりて松山の中より

上人

首城や久米迄橋よりいりて松山の中より

信心

玉輝

杖

上原三

信心杖はけり杖をいりて松山の中より

上人

人の心よりいりて松山の中より

花

上原三

信心杖はけり杖をいりて松山の中より

上人

小松原

上原三

信心杖はけり杖をいりて松山の中より

上人

信心杖はけり杖をいりて松山の中より

上人

九十九

十九











徳野へまうてゆりくるりむら門の  
王子とてくゆりくる

表紙

たぐも神りしむるくはかひりまの

徳野

恒屋の王子とて

日

ながるるくはかひりむら門の

徳野

わいも神りくる人徳野の

はらうりくる

松平

約

世もくくはかひりむら門の

徳野

徳野へまうてゆりくるりむら門の

くはかひりくる

花

約

咲く花はまきとてはかひりむら門の

徳野

川

日

新文へまうてゆりくるりむら門の

徳野へまうてゆりくるりむら門の

徳野

白川の夜は徳野へまうてゆりくるり

くはかひりくる

ゆりくるり

まがら恒屋の王子とてはかひりむら門の

徳野

徳野へまうてゆりくるりむら門の

くはかひりくる

くはかひりくる

黒代

日

黒代は神りくる人徳野の

徳野

松平

約

徳野へまうてゆりくるりむら門の

徳野



神念心

日

山徳野村神念心の人々を以て其の事と程行らば  
世々世々神念心の人々を以て其の事と程行らば

念心  
念心

夏徳神念心の人々を以て其の事と程行らば

丁々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々

行はゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり

岩田

日

岩田岩田岩田の夕陽を以て其の事と程行らば  
約信心は其の事と程行らば

岩田

はたはたはたはたはたはたはたはたはた

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

新々新々新々新々新々新々新々新々新々

新々新々新々新々新々新々新々新々新々

日 日 日 日  
湊 湊 湊 湊  
柳 日

年月日して七年とて又たはたはたはたはた  
くくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

湊

湊

湊

湊

湊

丸右

三十三







王子とてある

志代

日

結と結る日... 志代の松

和氣成

と... 志代

志代

松原

日

と... 松原

松原

湯

日

と... 湯

湯

文

日

と... 文

文

と... 王子

と... 松原

松

日

と... 松

松

常

日

と... 常

常

栞

日

と... 栞

栞

栞

日

と... 栞

栞

志

日

と... 志

志

可

日

と... 可

可

書

日

と... 書

書

京

日

と... 京

京

子

日

と... 子

子

松

日

と... 松

松

善

日

と... 善

善

善

日

と... 善

善

所

日

と... 所

所

逆

日

と... 逆

逆

那

日

と... 那

那



石根川 日  
 三徳神をまつりてはたかむるをいふは神のなり 志盛  
 百三十一日 三徳神をまつりてはたかむるをいふは神のなり 志盛  
 三徳神をまつりてはたかむるをいふは神のなり 志盛  
 三徳神をまつりてはたかむるをいふは神のなり 志盛

三徳神  
 志盛



